



期間

令和8年 10月23日(金)～12月4日(金)[全5回]

実施  
場所

八幡西生涯学習総合センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 (コムシティ3階) (29ページアクセス参照)

申込・  
問合せ先

生涯学習総合センター

〒803-0811 小倉北区大門1-6-43

TEL: 571-2735 FAX: 571-0943

時間

18:30～20:30

応募締切

10月4日(日)

スマートフォンからも  
お申込みできます▶

定員

40名

受講料

3,000円

受講生への  
メッセージ

コーディネーター：シルクライン 代表 / シルクキュレーター 林 久美子

お蚕さんが生み出す小さな繭には、人々を魅了してきたシルクのお話が秘められています。その糸はやがて絹となり、着物となり、産業となり、人の夢や暮らし、未来へとつながってきました。

本講座では、生きたお蚕さんに実際に触れ、糸を繰り、産業の姿を知り、草木染の色彩に触れながら、シルクの奥深い魅力を体感します。さらに、働く人たちの技術や想い、日本の近代化を支えた製糸業、医療や化粧品へ広がる最新のシルク研究まで、多彩な視点から“シルクの世界”をひもときます。

歴史・文化・科学・人の営みを一本の糸でつなぐ、発見と学びにあふれた講座です。

林 久美子

福岡県築上町出身。元・長野県岡谷蚕糸博物館学芸員。社会教育士。  
2024年よりシルクライン代表。シルクの歴史と文化と産業と技術をつなぐシルクキュレーターとして活動中。

| 回数 | 月 日          | テーマ・内容                                                                                                                                                   | 担当講師                                                                                                               |
|----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 10/23<br>(金) | <b>シルクのめぐみはお蚕さんから</b><br>シルクの原点はお蚕さんという昆虫です。<br>小さなお蚕さんが生み出すシルクの不思議と養蚕の姿を、モリモリ桑の葉を食べるお蚕さんを実際に見ながら触れながら、感じてみませんか。                                         | 林 久美子                                                                                                              |
| 2  | 11/6<br>(金)  | <b>シルクの魅力と糸の不思議</b><br>お蚕さんが作った繭からどうやってシルクは作られていくのでしょうか。その部分を糸繰りの実演と体験を織り交ぜながら、シルクの魅力を科学・文化・暮らしなど多方面からお話しします。                                            |                                                                                                                    |
| 3  | 11/20<br>(金) | <b>日本の絹を生み出す仕事</b><br>日本の近代化を支えた製糸業。そこには糸を繰りながら時代を生きた多くの女性たちの姿がありました。富岡製糸場をはじめとする製糸業と糸繰りの技術を、実際に製糸工場で働いた女性たちの聞き取りの言葉も交えながら辿ります。                          |                                                                                                                    |
| 4  | 11/27<br>(金) | <b>自然の色をいただく「草木染」</b><br>人は遥か昔から、植物や自然から色をいただき、衣服として身に着けてきました。<br>「草木染」という言葉を世に広めた祖父・山崎斌氏、父・山崎青樹氏から続く山崎和樹氏。「草木染」の鮮やかな色彩に囲まれて、自然の色を映し出した美しさと染色文化の魅力に触れます。 | 草木工房 主宰<br>山崎 和樹<br>草木染研究家(学術博士・信州大学)。古代からの天然染色である草木染を研究、その染色法の普及にもつとめている。自然と共生し、時代と向き合いながら「暮らしに生かせる草木染」の提唱を行っている。 |
| 5  | 12/4<br>(金)  | <b>未来へのシルク</b><br>シルクは現在、ファッションのみならず、医療や化粧品など新たな分野へと広がりをみせています。<br>人の知恵と科学技術が織りなす“未来のシルク”の可能性をご紹介します。参加者の皆さまと、未来を語りたいと思います。                              | 林 久美子                                                                                                              |